

分野
計画

上下水道ビジョン

快適な生活環境の創出

- 健全な水環境の創造
- 下水道人口普及率・水洗化率の向上

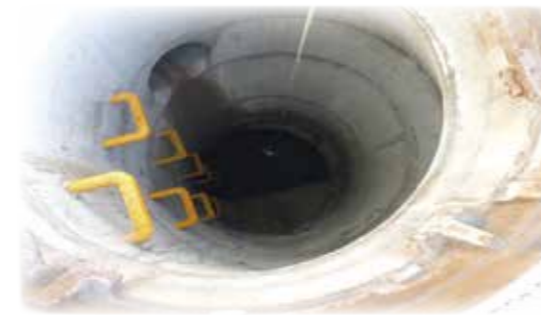
危機に強い下水道の実現

- 老朽化対策の推進
- 浸水対策の推進
- 地震対策の推進



下水道サービスの
維持・向上

- 下水道事業の健全な経営
- 人材育成などの推進
- 広報活動の充実



上下水道
3-2

下水道

基本
方向

公共下水道により快適な生活ができるまちにします。また、サービスの維持・向上に向け、健全かつ安定的な事業を運営します。

現状と課題

下水道の普及・水洗化

令和元年度末の本市の下水道人口普及率は99・1%、水洗化率は95・9%となっており、全国と比較して汚水整備は進んでいます。今後もより快適で衛生的な生活が送れるよう市街化調整区域における整備推進、下水道接続困難地区への整備検討を進め、処理区域を拡大する必要があります。また、水環境の改善に向け、引き続き水洗化への啓発を進めていく必要があります。

総合的な浸水対策

令和元年度末の本市の雨水面積整備率は、55・3%となっています。本市では、これまで汚水整備を先行して進めてきましたが、近年、局地的豪雨（ゲリラ豪雨）等が増加傾向にあるため、今後は被害が生じやすい地区から雨水整備を進めていくとともに、内水ハザードマップを周知

健全な企業経営の実現へ

本市の下水道は、過去集中的に整備を進めてきたため、将来、施設の更新時期が集中すると見込まれます。一方で、下水道の機能維持に必要な財源を確保することは困難な状況にあり、計画的な点検・調査、効率的な改築更新を行うストックマネジメント手法に基づいて、健全な経営を実現させる必要があります。

するなど、総合的に対策を進めていく必要があります。



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
下水道人口普及率	99.1%	99.3%
水洗化率	95.9%	96.2%
雨水面積整備率	55.3%	55.6%
経常収支比率(公営企業会計)	103.9%	100%以上

